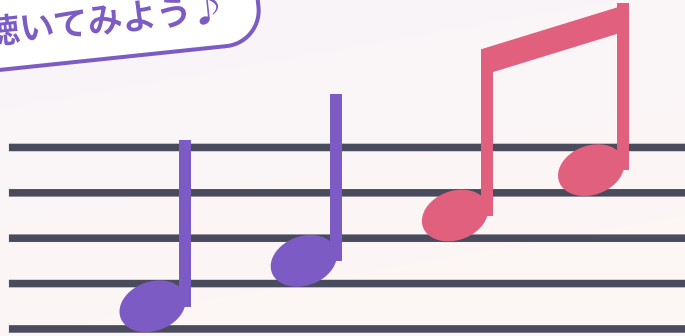


よく聴いてみよう♪



音楽ってもっと面白い！

音楽鑑賞のコツ

聴く力を育てて、もっと深く味わう



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょ

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まりま

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

鑑賞のはじめかた	3～5
聴く力を育てる	6～10
曲を深く知る	11～15
感想を伝える	16～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

音楽鑑賞ってなに？

音楽鑑賞は、曲にじっくり耳をかたむけて味わうことです。

音楽鑑賞（かんしょう）とは、**曲にじっくり耳をかたむけて、味わうことです。**
ただ聞き流すのではなく、音の動きや響きに注意を向けると、同じ曲でもぐっと深く楽しめるようになります。



鑑賞のいろいろな入り口

好きな歌手の曲

映画やアニメの音楽

コンサート

学校の音楽の授業

街で流れるBGM

きっかけは何でもかまいません。まずは「聴いてみよう」ということから始まります。

ポイント

- 音楽鑑賞は、聴く・感じる・考えるをくり返す活動です。
- 上手に聴けたかどうかより、何かに気づけたかどうか大切です。
- この教材では、鑑賞をもっと楽しむためのコツを紹介します。

やってみよう

- 最近、心に残った曲を1つ書こう。 _____
- その曲のどこが心に残りましたか。

ワンポイント 「なんとなく好き」で十分です。理由はあとから少しずつ見つければ大丈夫。

書いて覚えよう

聴く準備

少しの準備で、音への集中しやすさが変わります。

鑑賞

かんしょう

音楽をじっくり聴いて味わうこと

音量

おんりょう

音の大きさ。イヤホンは上げすぎに注意

場所

静かで、落ち着いて聴ける場所を選ぶ

姿勢

楽な姿勢で、肩の力をぬく

音量

耳に負担のない、ほどよい大きさにする

時間

少なくとも1曲、最後まで聴く時間を用意する

ポイント

- 準備を整えると、音により集中しやすくなります。
- イヤホンやヘッドホンは、音量を上げすぎると耳を痛める原因になります。

やってみよう

1. 今から1曲、鑑賞の準備をしてから聴いてみよう。
2. 準備をする前と後で、聴こえ方にちがいはありましたか。 _____

書いて覚えよう

集中して聴く

集中できないのは、自然なこと。少しずつ練習しましょう。



Ken

音楽を聴きながら、つい別のことを考えちゃうんだよね。



Emma

わたしは、目を閉じて聴くと、音に集中しやすくなるよ。

ポイント

- ほかのことを考えてしまうのは自然なことです。気づいたら、また音にもどればOK。
- 目を閉じる、姿勢を正すなど、自分に合った集中の方法を見つけましょう。

やってみよう

1. 1曲、目を閉じて集中して聴いてみよう。
2. 集中がとぎれたのは、曲のどのあたりでしたか。

ワンポイント 集中は、長く続けるより、短い時間からくり返し練習するほうが身につけやすいものです。

書いて覚えよう

何回も聴く・楽器を聴き分ける

同じ曲でも、聴くたびに新しい発見があります。

音色

ねいろ

楽器や声がつ、音の質のちがい

聴き分ける

ききわける

音の高さや音色のちがいを区別して聴くこと

楽器のなかま

音の特徴の例

弦楽器

弦をはじく・こする音

管楽器

息を吹きこんで鳴る音

打楽器

たたいて鳴る音

鍵盤楽器

鍵盤を押して鳴る音

ポイント

- 同じ曲でも、聴くたびに新しい発見があります。1回で分かろうとしなくて大丈夫。
- 楽器の音色に注目すると、曲の中で鳴っている楽器が少しずつ分かるようになります。

やってみよう

1. 好きな曲を2回聴いて、1回目と2回目で気づいたことのちがいを書こう。

2. その曲の中で聴き分けられた楽器を書こう。 _____

書いて覚えよう

メロディを追う

音の動きを目と耳で追ってみましょう。

メロディの動きを目で追おう



音が上がってから、もとの高さにもどってきています。メロディの形を目で見ると、耳でも追いやすくなります。

ポイント

- メロディを目で追うように意識すると、曲の流れをつかみやすくなります。
- ローズさみながら聴くのも、メロディを追う練習になります。

やってみよう

1. 上のメロディを、声に出して歌ってみよう。
2. 好きな曲のメロディを、鼻歌で追いかけてみよう。

書いて覚えよう

体でリズムをとると、曲がもっと身近になります。

A musical staff with five notes. The first four notes are quarter notes with stems pointing upwards, labeled 'タン', 'タ', 'タ', and 'タン' respectively. The fifth note is a half note with a wavy stem, labeled 'ウン'.

8

曲の構成をつかむ

曲の流れをつかむと、聴かせどころが見えてきます。



はじまり

intro

曲の出だしの部分

雰囲気をつくる



中心部分

main

メロディが展開する部分

曲の聴かせどころ



おわり

ending

曲の締めくくりの部分

余韻を残す

ポイント

- 多くの曲は、はじまり・中心部分・おわりという流れでできています。
- 構成に注目すると、曲の盛り上がりどころが分かりやすくなります。

やってみよう

1. 好きな曲を聴いて、いちばん盛り上がると思った部分はどこですか。

書いて覚えよう

曲の気持ちを感じる

音の速さや高さから、気持ちが伝わってきます。

Emma

この曲、なんだか元気が出るね。



Ken

うん、テンポが速くて、音も明るいからかな。

ポイント

- 曲の速さや音の高さ、強さから、明るい・切ないなどの気持ちが伝わってきます。
- 感じ方は人によって少しずつちがってもかまいません。

やってみよう

1. いま聴いている曲から、どんな気持ちが伝わってきますか。 _____
2. その理由を、曲の速さや音の様子から考えて書こう。

ワンポイント 「なぜそう感じたのか」を考えるくせをつけると、鑑賞がぐっと深くなります。

書いて覚えよう

作曲者を知る

作曲者を知ると、聴き方が広がります。

作曲者

さっきょくしゃ

曲をつくった人

作曲者

活やくした時代

バッハ

バロック時代（18世紀前半ごろ）

モーツァルト

古典派（18世紀後半ごろ）

ベートーヴェン

古典派からロマン派へ（18世紀末～19世紀前半）

ポイント

- 作曲者を知ると、同じ人がつくった他の曲も聴きたくなります。
- 作曲者の生きた時代や国を知ると、曲の背景が見えてきます。

やってみよう

1. 知っている作曲者の名前を書こう。 _____

書いて覚えよう

時代を知ると、曲の雰囲気の原因が分かります。

- 曲がつけられた時代によって、使われる楽器や音の並びに特徴があります。
- 同じ時代につけられた曲どうしには、似た雰囲気を感じられることがあります。
- 時代背景を知ると、曲をより深く味わう手がかりになります。

やってみよう

1. 今聴いている曲は、昔の曲・最近の曲、どちらだと思いますか。 _____
2. そう思った理由を書こう。

書いて覚えよう

風景や物語などのイメージを表したタイトルがついている音楽

「交響曲第〇番」のように、番号などと呼ばれる音楽

ポイント

- タイトルからイメージをふくらませて聴くと、曲の情景が浮かびやすくなります。
- 番号だけの曲は、音そのものの美しさを味わう音楽として作られています。

やってみよう

1. 曲のタイトルにイメージがある音楽を → (標題音楽 / 絶対音楽)
2. 好きな曲のタイトルから、どんなイメージが浮かびますか。

書いて覚えよう



同じ曲でも、演奏する人がちがうと印象が変わるね。



速さや強弱のつけ方が、演奏者によってちがうからだよ。

- 同じ楽譜でも、演奏者によってテンポや強弱のつけ方がちがいます。
- 聴きくらべると、それぞれの演奏者の個性が見えてきます。

1. 同じ曲を、ちがう演奏で聴いてみよう。ちがいに気づいたら書こう。

ライブと録音のちがい

ライブと録音には、それぞれの良さがあります。

① その場だけの音

ライブの魅力

② くり返し聴ける

録音の魅力

③ 会場の空気を感じる

ライブならではの

④ 小さな音まで聴き取れる

録音ならではの

ポイント

- ライブは、その場でしか味わえない一回きりの演奏です。
- 録音は、何度も同じ演奏をくり返し聴くことができます。

やってみよう

1. ライブと録音、それぞれの良さをもう1つずつ考えて書こう。

書いて覚えよう

鑑賞ノートをつける

記録を続けると、自分の好みが見えてきます。

日づけ

聴いた曲

気づいたこと

感じた気持ち

点数

★★★★★

Emma の例

日づけ 6月2日／聴いた曲 弦楽四重奏の曲／気づいたこと 4つの楽器の音がきれいに重なっていた
／感じた気持ち 落ち着いた気持ちになった

ポイント

- 続けて書くことで、自分がどんな音楽を好きになっていくか分かってきます。

書いて覚えよう

感想を伝え合うと、新しい聴き方に出会えます。



Emma



18

1日1曲でも、続けることに意味がある

知らないジャンルにも挑戦してみる

鑑賞ノートで、気づきを積み重ねる

感想を誰かと話してみる

- 鑑賞の習慣は、少しずつでも続けることで力になります。

20

やってみよう・みんなで練習

気づきを言葉にする練習をしましょう。

A (曲を1回聴く)

B 気づいたことを1つ言うね。

A (もう1回聴く)

B さっきとちがうことに気づいたよ。

A わたしは、こう感じたよ。

B わたしは、こう感じたよ。

ポイント

- 1回目と2回目で気づきがちがうことを、ペアで確かめ合う練習です。
- 感じ方のちがいを否定せず、「そう感じたんだね」と受け止め合しましょう。

ワンポイント 正解を当てる練習ではありません。気づいたことを言葉にすることが目的です。

書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきは、上達のサインです。

つまずき

よくあること

何も感じられない

集中できていない

感想が「良かった」だけ

言葉の引き出しが少ない

飽きてしまう

同じ聴き方をくり返している

コツ

こうしてみよう

1つだけに注目する

メロディだけ、などの的をしぼる

言葉の例を見る

気持ちを表す言葉を参考にする

聴き方を変える

目を閉じる、楽器に注目するなど

ポイント

- うまく感じられない日があっても、心配いりません。
- 聴き方を少し変えるだけで、新しい発見があります。

やってみよう

1. あなたがつまずきやすいのはどれですか。 _____
2. 上のコツから1つえらんで試してみよう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

聴き方の基本

☐ 集中して聴く

1つのことに注意を向けて聴く

☐ 何回も聴く

聴くたびに新しい発見をする

☐ 鑑賞ノート

気づきや感想を記録するノート

曲を知る

☐ 作曲者

曲をつくった人

☐ 時代背景

曲がつくられた時代のような

☐ 標題音楽

タイトルにイメージがある音楽

演奏を聴きくらべる

☐ 演奏者

曲を演奏する人

☐ ライブ

その場で行われる生の演奏

☐ 録音

くり返し聴ける記録された演奏

感想を伝える

☐ 感想の言葉

気持ちを表すための言葉

☐ 友だちと交換

感じ方のちがいを話し合う

☐ 好きな曲を紹介

自分の好きな曲を人に伝える

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、感想も伝えやすくなります。

書いて覚えよう

● オ. 番号などと呼ばれる音楽

2. その場だけの一回きりの演奏を何という → (ライブ／録音)

24

25

家でできる練習

毎日少しずつ、鑑賞にふれよう。

朝

1曲、集中して聴く

移動中

楽器の音に注目して聴く

夕方

鑑賞ノートに1行書く

夜

家族に今日聴いた曲を紹介する

週末

知らないジャンルの曲を1曲聴く

いつでも

音量に気をつけて聴く

ポイント

- 1回5分でも、毎日続けることがいちばんの力になります。

書いて覚えよう

発表してみよう・感想を書こう

気づいたことを、人に伝えてみよう。

曲名

作曲者

好きなところ

感じた気持ち

聴いてほしい人

Ken の例

曲名 弦楽四重奏の曲／好きなところ 4つの楽器の音が重なるところ／感じた気持ち 落ち着いた気持ち／聴いてほしい人 家族

感想を3文で書こう

① この曲を聴いて、～な感じがしました。② とくに、～のところが印象に残りました。③ それは、～だからです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

鑑賞の世界は、ここからどんどん広がります。

もっと知りたい人へ

図書館で

作曲家や曲の解説書を探す

演奏会へ

生の演奏を聴きに行く

動画で

演奏の様子を見る

次のステップ

楽器の音色

オーケストラの楽器を知る

指揮者

演奏をまとめる役割を知る

音楽の歴史

時代ごとの音楽を知る

ポイント

- この教材の次は「オーケストラの楽器」。聴き分ける力を、さらにのばしていきます。

書いて覚えよう

学んだことをまとめよう

この教材で学んだことを、自分の言葉でまとめよう。

まとめ 自分の言葉で書こう

1. 音楽鑑賞とは、どんなことですか。
2. いちばん役に立ちそうなコツは？
3. これから挑戦してみたいことは？

音楽鑑賞ミッションカード

MISSION 1

1曲、集中して最後まで聴く

MISSION 2

鑑賞ノートを3回書く

MISSION 3

好きな曲を誰かに紹介する

MISSION 4

知らないジャンルを1曲聴く

できたミッションに✓をつけよう： ☐1 ☐2 ☐3 ☐4

書いて覚えよう

音楽鑑賞のコツチャレンジ

教室の外でも、鑑賞はすぐに楽しめます。

聴こう

知らないジャンルの曲を1曲聴く

書こう

鑑賞ノートに気づきを1つ書く

伝えよう

好きな曲を誰かに紹介する

こたえ

L12 標題音楽

L26 鑑賞ノート→エ 標題音楽→ウ 絶対音楽→オ ライブ→ア 録音
→イ 2. 作曲者 / ライブ

L33 (例) 曲にじっくり耳をかたむけて、感じたことを味わうこと。

書いて覚えよう

音楽鑑賞のコツ (Season 6 | No.51)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。